

ふじ野園だより 2月

施設長挨拶

旧暦では立春が一年の始まりで、前日に悪いものを追い払い、幸運が舞い込むようにと願って行るのが節分です。さて、2日の通勤時にラジオを聴いていると「豆まき」の話題となり、「ワタナベ」の姓は「豆まきをしないでいい」との話が聴こえてきました。京都を拠点とする酒呑童子（鬼）を退治したのが、渡辺綱（ワタナベノツナ）という名の剛勇だったそうで、漢字に関わらず渡辺の姓を鬼が恐れないと話でした。インターネットで検索してみると、他にも節分・豆まきに関する色々な情報が記載されていました。日本の「古き伝統」の由縁を掘り下げて、知見を広げてみようと感じたことでした。施設では、昼食に「一年間を幸せに過ごしていただけるように」と恵方巻の手巻寿司やお稲荷さんを召し上がっていました。

また、この時期にプロ野球の多球団がキャンプで来県することは、「新しき伝統」といったところでしょうか。宮崎市にも4球団がキャンプインしているようで、天候こそ恵かったものの最初の週末といったこともあり、約3万人のファンが詰めかけ、賑わいを見せたようです。新型コロナウイルスの5類移行後初の春季キャンプで、東九州自動車道清武南から日南北郷インターチェンジの開通により、県南方面への移動の利便性も良くなったからでしょうか。屋外のイベントではありますが、宮崎感染症週報を確認すると、感染者数はインフルエンザと共に増加傾向で推移しています。外出時の環境に合わせた感染対策は継続いたしましょう。

☆ふじ野園の1月 日常の様子☆



☆書初め☆



☆おせち料理☆



☆生け花クラブ☆



お誕生日おめでとうございます。これからもお元気でいてくださいわ。

